みんなで寄生虫退治

検便は地区一斉に

十一月二十一日から三十日まで寄生虫予防運動が全国一斉に行なわれます。

市では毎年学校、一般の方の寄生虫検査を実施しています。昨年の検査結果をみますと学童の保卵率は十一％で蛔虫、東洋毛が大多数を占めています。

一般では二十五％となっており寄生率が学童よりも高いというほかに、学童に見られない十二指腸虫（鉤虫）が二十三％を占めている。今年も十月下旬から十一月にかけて、一般の検便を実施する予定でありますが、これは一部の人だけ駆虫をやってもまわりから浸入してくるので、地区全体の人が一斉にやらなければ効果はないので部落単位か地区全体として取りあげてやる予定であります。

虫が体内に寄生しますと、腹痛、食欲不振、頭痛、目まい、はきけ、子供ではヒキツケ等を起します。十二指腸虫では、貧血、浮腫、目まい、息切れ、全身がだるい等の症状、蟯虫は肛門周囲のかゆみ、不眠等があります。

これらの寄生虫の害をなくするには検便をして虫の種類にあった薬をのんで駆虫することと、虫が体内に入らないように、手洗いや、野菜、果物等はよく洗ってから使用するなど、日常生活に気をつけることが一番大事なことであります。

学校めぐり ④

満日小学校の巻

今年度中に体育館を改築

後藤校長

校章

学校のあゆみ

明治六年十月旧満日村大字満願寺に出来たものである。当時は第一中学区第十番小学下新校（当時の新関村）の附属として公立満願寺校と称したが校舎は別に新築せず、戸長石川哲太郎氏の私宅を借り授業に従事した。その後七日町の戸長帆苅源太氏、又杵鞭作次郎氏方に移り、明治十五年学制改革により中等小学校となり同十七年下新校から分離して独立の本校となり大安寺分校をおいたが、同二十年尋常科満願寺校となり二十二年には町村制により合併、満日小学校と称した。大正十四年満日村が新津町へ合併の結果新津尋常高等小学校へ合併、新津第五校舎と改称し戦後教育制度の改革により新津市立満日小学校と改称され現在に至った。

現在先生十二名に児童三百二十二名が学んでいる、今年度中に予算五百八十八万円で七百十二平方米の体育館が改築される予定です。

張りきる鼓笛隊（円内辻村先生）

充実した鼓笛隊

市内の小学校では最初に編成されたというだけあって鼓笛隊の演奏技術の正確さは驚く程、辻村先生をリーダーとして中川、西村、長谷川各先生の力の入れようも一倍、集団行動の訓練とともに音感教育の徹底を図ろうと三十五年から始めたもの、すでに交通安全県宣言の市内パレード、国体旗リレー市通過声援などに堂々の演奏を披露している。辻村先生の努力に児童達の熱心さが加わり、国体までにはきっと素晴しい腕をみせてくれるものと思う。隊員は五、六年生の児童百二十名で編成されている。

伝統的な相撲体操（円内後藤先生）

相撲体操で耐久力を

基礎体力と耐久力の養成を目的に始めたという相撲体操、これはこの満日小学校では伝統的なしかも独特な体操で、なかなか力の入ったもので、しきりの型から土俵入りの型まで一通りある。どの型も児童の気合いが必要、元気な児童達のかけ声が秋晴れの空にひびき渡る。この指導に当たっている後藤有先生も、日頃の練磨の積みかさねで、この気合いの入った相撲体操でかぜなどふっとばしてくれることを念じながら児童の健康を確保しようと一生懸命。

巾広いPTAの活躍

特別ではなく極めて自然なかたちで協力しはじめたのだが、今では地域PTAの方々の学校への献身的な協力は、学校当局として頭のさがる思いであるといわれる。

活動内容も極めて専門的で文教、厚生、校外補導部など各分野にわたって連日活躍されている、特に満日婦人会の協力は特筆に値いすることを後藤校長は力説されておられた。

教育行政に対し、科学教育振興のため理科備品の充実をはかりたい、そのためには是非当局の理解がほしいことをつけ加えられた。

国保料納入促進月間

あなたを守る国保

納入は組合加入が有利

国保料の納入成績はみなさんのご協力で年々向上しております。が、まだ指定納期限までの納入率は低いのが現状です。

国保運営の原動力を大きく分けますと保険料（三千六十二万円）と国からの補助金と負担金（二千四百七十二万円）があげられます。この大きな原動力である国の補助金、負担金は、法律の定めるところによって計算どおり入りますが、いま一つの大きな原動力である保険料は、なんと言ってもみなさんの協力がないと計算どおりに入らないことになります。

この二つの原動力のいずれの一方でも故障をおこすと、国保のエンジンはたちまちストップしてしまいます。

今月の三十日までは報奨金づき納入促進月間として、その協力をお願いしておりますが（二百二十四世帯、六十五万二千円が協力済）この期間を過ぎると報奨金が半額になりますので折角の恩典によくされるようおすすめします。

報奨金の交付は十月分の保険料から三月分まで納入された方は、月額の半額を報奨金としてその場で交付致します。

国保とみんなが手をつなごう

保険料の賦課と徴収を担当している税務課では国保と手をつなぐ運動の一環として、全市に保険料取まとめ組合をつくる運動を計画しております。

この運動はまだ組合が出来ていない町内、部落、それに区内に組合はあるが加入していない世帯を対象として、組合を設立していただき、全市域がそろって取まとめ組合をつくって手をつなぎ合い国保事業を発展、充実させて頂こうというものですのであげてご協力をお願いします。

九月末日まで設立済の組合数は、七十一組合、四千二百世帯、未設立部落及び未加入世帯、二十四部落約一千三百世帯となっております。

このように未設立区が非常に少なくなっております。みなさんの健康を守る国保をさらに充実させて頂くため、組合づくりにご協力をお願いします。

くわしいことは税務課におたずね下さい。

全市一斉ねずみ駆除

収穫の秋を狙うねずみ族

被害県内で年間十五億円余

収穫の秋は又ねずみ族活躍の秋であるともいわれております。被害が大きいわりに直接的な苦痛がないために、とかく駆除がおろそかになっておりますが、県下に棲息するねずみは一千万匹と推定され、年間十五億円以上の害があるといわれております。

本年も十一月上旬から十二月へかけて県下一斉に、家ねずみ、野ねずみの駆除を実施いたしますが、本市もこの運動に参加し全市の一斉駆除をやりますので、各家庭におかれても何分のご協力をおねがいいたします。

なお殺鼠剤は無料で配給する予定であり、「ねずみ宝くじ」や「ねずみ取り名人」等の催しもありますので、この際徹底的に駆除をしてねずみのいない健康的なまちづくりに格段のご協力をおねがいします。

文化祭行事

菊まつり行事ごあんない

十一月一日から七日まで、県下一を誇るけんらん豪華な菊花展覧会を中心に菊まつり行事が、次のように盛たくさん計画されています。

一日から七日まで
△菊花展覧会
堀出神社境内特設花段において菊人形を始め大菊小菊三千鉢が研を競う。

二日、三日　午前九時から午後四時まで
△商工振興展
△観光土産品試作品評会
第一小学校

三日、四日
△堀出神社宝物展　堀出神社

三日、四日　午前九時より午後四時まで
△各流派いけ花展△シャボテンと多肉植物展△編物作品、手芸品、人形展
△新津光画会写真展第一小学校

三日、四日　午前九時より午後五時まで
△切手展　青年研修所

二日～五日　午前九時より午後五時まで
△新津市写真クラブ写真展　記念公会堂

二日、三日　△いけ花展
新町子安院

三日、四日　△満日菊花展、第三中学校

三日　△坂口五峰先生遺墨展並びに菊花展、阿賀小学校

その他

十日　午後六時△歌とフォークダンスの夕　記念公会堂　十一日　午後六時△市民川柳大会　駅前秋葉荘　△市民俳句大会　記念公会堂　十一日午後一時△音楽会　第一小学校　十四日　宗偏流茶会　新森　二十三日～二十五日△いけ花展　図書館　十七日、十八日　万年青、春蘭、展示会、記念公会堂

第三回成人者教育講座

11月12日から記念公会堂で

新津市で、ことしは八百六十名（男子三百八十名、女子四百八十名）の人たちが新たに成人になられますが、これらのかたがたが今後主権者として社会に処してゆく上にどうしても必要と思われる最低限度の基礎知識を習得する機会として、市公民館では十一月十二日から十二月七日までの間、夜十二回にわたって記念公会堂で、「第三回成人者教育講座」を次の要領で開講することにいたしました。

この講座は過去一、二回とも非常な盛況裡に終始して参りましたが、今年も一層充実したものにしてゆきたいと存じますので、特に該当者のおられるご家庭や商店、事業所の方々からは、該当者の受講について格別のご協力をお願いいたします。

1 十一月十二日（月）開講式並びに講義「成人の意義」講師、新大助教授山口五郎氏
2 十四日（水）講義「憲法、民主々義」講師、新大助教授渋谷武氏
3 十六日（金）パネル討議「基本的人権」講師、労基署長、人権擁護課長、家裁調停委員、企業家、県労協事務局長、社教委
4 十九日（日）座談会「青年期に於ける学習活動」講師　通信教育学生、定時制高校生、青年学級生、図書館利用者、市社会教育課長
5 二十日（水）講義「青年心理」講師、新大長岡分校助教授斉藤和代氏
6 二十三日（金）講義並びに実技「健康とスポーツ」講師、県国体事務局飯塚正雄氏、及び市体育指導委員
7 二十六日（月）座談会「地域総合開発と市政」講師、新津市長、県開発課長、社教委
8 二十八日（水）講義「選挙権の行使」講師、大井一星氏
9 三十日（金）座談会「国内政治」講師　朝日、読売、毎日新潟日報各社、NHK
10 十二月三日（月）講義「科学の発達」講師　新大教授小林宇五郎氏
11 五日（水）講義「国際情勢」講師　新潟日報論説委員中沢惣吉氏
12 七日（金）反省会と閉講式

なおこの講座の開講時間はいずれも午後六時三十分から九時までです。該当者にはすでに案内状を送付しておきましたので、未着の方がありましたら、公民館へお申し出下さい。

文芸講演会

29日夜商工会館で

新津文団協と新日本文学会では市教育委員会後援で、文芸講演会を十月二十九日午後六時三十分から本町四商工会館ホールで開きます。講師は作家阿部知二、評論家花田清輝氏です。どなたもきがるにお出下さい。

国体シリーズ ⑩

国体「旗リレー」

"市民あげての歓迎"

市民の拍手で迎えられた旗リレー

第十七回国体旗が去る九月二十五日市内を通過いたしました。この国体旗は昨年の秋田市を出発し、今年の開催地岡山市に向って通過府県の老若男女により国民総参加の趣旨のもと盛大にリレーされました本市でも七区間百四十七名の隊員によって無事リレーされましたが、沿道における歓送迎の人波は、阿賀浦橋の満日小学校鼓笛隊を始め、二小、一小、結小の鼓笛隊、一中、五中のブラスバンド等の市中行進など圧巻を極めました。

この国体旗リレーにご協力下された公民館、婦人団体を始め関係の方々に深く感謝申し上げます。昭和三十九年六月の新潟国体には再び山口県からはるばる国体旗が運ばれて来ます。その時には今回以上に全市を巡り、多くの方からリレーに参加してもらう計画でおります。そして皆さんの手で運ばれた旗のもとで第十九回国体が盛大に開かれることでしょう。

新津市体育会 文部大臣賞を受賞

新津市体育会（会長桂啓造）は今回、職場や地域でスポーツの健全な普及、発展に尽くしてきた社会体育優良団体として全国四十八団体とともに文部大臣の表彰を受けました。表彰式は、十月二十一日岡山市で開かれた第十七回国民体育大会開会式で行なわれ、会長外、関係者が出席いたしました。

◎右を見て、左見て横断歩道。△注意一秒ケガ一生。